

北海道観光入込客数調査報告書

平成17年度

観光入込客数(実人数) 1頁

(参考)

観光入込客数(延べ人数) 3頁

来道観光客数(実人数) 6頁

訪日外国人来道者数

1 訪日外国人来道者数(実人数) 7頁

2 訪日外国人来道宿泊者数(延べ人数) 9頁

平成18年7月

北海道経済部観光のくにづくり推進局

北海道観光入込客数調査の内容と留意事項

1 観光入込客数調査について

本調査は、全国観光統計基準により道が定めた「北海道観光入込客数調査要領」に基づき、各市町村が調査を行った結果を集計したもので、半期毎に実施しています。

2 調査内容

(1) 観光入込客数

ア 観光入込客数【実人数】

各市町村の観光入込客数や観光動態調査などにより推計した北海道における観光入込客の実人数

実人数：1人の観光客が1回の旅行で、5市町村を訪問している

場合でも、1人と数えます。

イ 観光入込客数【延べ人数】

各市町村の観光入込客数を集計した観光入込客の延べ人数

延べ人数：市町村の実人数の単純合計

1人の観光客が1回の旅行で、5市町村を訪問している
場合は、5人と数えます。

(2) 来道観光客数

交通機関（航空機、フェリー、鉄道）の下り便の輸送実績を基に「来道観光客動態調査」などにより推計した来道観光客の実人数

(3) 訪日外国人来道者数

北海道を訪れた外国人について、「宿泊施設調査」などにより推計した訪日外国人来道者数の実人数

3 利用上の留意事項

(1) 今回の調査は、平成17年度（H17.4～H18.3）を対象に行っており、4・5月を「春」、6月～9月を「夏」、10・11月を「秋」、12～3月を「冬」として、取り扱っています。

(2) 市町村ごとの観光入込客数調査では、実人数を推計していますが、「支庁の計」、「圏域の計」は延べ人数となっています。

(3) 各数字は、四捨五入のため合計が合致しない場合があります。

(4) 平成17年9月1日以降に合併した市町村の今年度の算出方法については、いずれも合併前の「旧市町村の区域」単位で「観光入込客数」を算出していることから、報告書においても旧市町村名で表示しています。

観光入込客数（実人数）

平成17年度の観光入込客の総数（実人数）は、4,813万人となり、前年度の4,839万人に対し、99.5%となりました。

道内外から注目を集めた旭山動物園人気や世界自然遺産に登録された「知床」効果に加え、東アジアを中心とした海外からの来道者が昨年引き続き大幅に増加するなど、増加要因があったものの、愛知万博の開催や全国的な寒波や大雪といった天候要因、道内においては人気観光地へ観光客が集中したことや春先の天候不順などが影響し、観光入込客数は前年度をわずかに下回りました。

道外・道内客別にみると、道外客は635万人（構成比13.2%）で前年度の100.5%とほぼ前年並みとなりましたが、道内客は4,178万人（構成比86.8%）で同99.3%と減少しております。

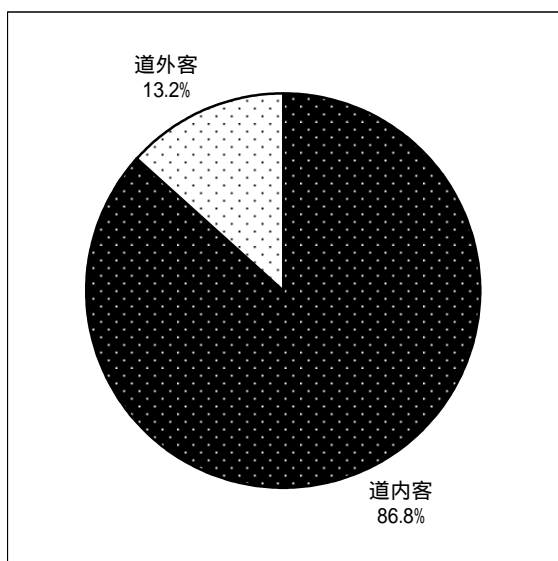
日帰り・宿泊客別にみると、日帰り客は3,336万人（構成比69.3%）で前年度の99.7%とほぼ前年並みとなりましたが、宿泊客は、道外客が100.5%と増加したものの、道内客が98.0%と減少したことから、全体では1,477万人（構成比30.7%）、前年度の99.1%と減少しました。

季節別にみると、秋季が同102.7%と増加し、夏季と冬季はそれぞれ同99.9%、99.5%とほぼ前年並みとなりましたが、春季が95.4%と大きく減少し、全体に影響しました。

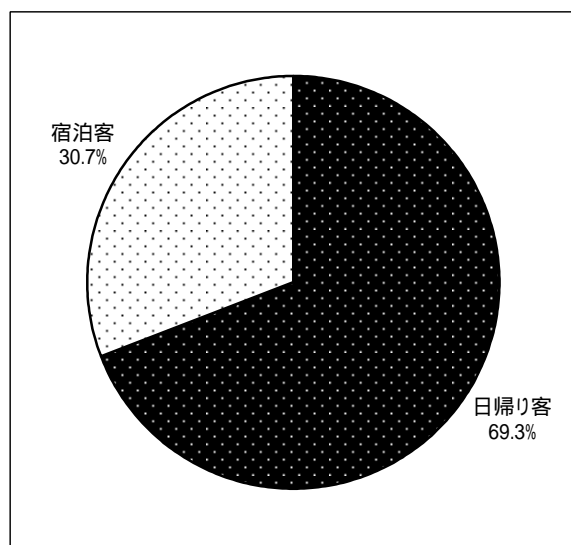
<平成17年度 観光入込客数(実人数)>

区 分	観光入込	構成比	左の内訳		季節別内訳			
			日帰り客	宿 泊 客	春	夏	秋	冬
道 外 客	635 万人	13.2%	2 万人	633 万人	81 万人	349 万人	75 万人	130 万人
	構成比	100.0%	0.3%	99.7%	12.8%	55.0%	11.8%	20.5%
	前年比	100.5%	99.2%	100.5%	98.2%	100.3%	104.1%	100.5%
道 内 客	4,178 万人	86.8%	3,334 万人	844 万人	628 万人	2,113 万人	592 万人	844 万人
	構成比	100.0%	79.8%	20.2%	15.0%	50.6%	14.2%	20.2%
	前年比	99.3%	99.7%	98.0%	95.0%	99.8%	102.5%	99.3%
合 計	4,813 万人	100.0%	3,336 万人	1,477 万人	709 万人	2,461 万人	667 万人	975 万人
	構成比	100.0%	69.3%	30.7%	14.7%	51.1%	13.9%	20.3%
	前年比	99.5%	99.7%	99.1%	95.4%	99.9%	102.7%	99.5%

【道内・道外客別構成比】



【日帰り・宿泊客別構成比】



【観光入込客数（実人数）の推移】

（上段：人数、下段：前年度比）

	平成13年度		平成14年度		平成15年度		平成16年度		平成17年度	
	人数	前年度比	人数	前年度比	人数	前年度比	人数	前年度比	人数	前年度比
道外客	627万人	105.3%	638万人	101.8%	635万人	99.5%	632万人	99.5%	635万人	100.5%
道内客	4,414万人	103.5%	4,370万人	99.0%	4,304万人	98.5%	4,207万人	97.7%	4,178万人	99.3%
日帰り客	3,507万人	103.3%	3,498万人	99.9%	3,442万人	98.4%	3,348万人	97.3%	3,336万人	99.7%
宿泊客	1,535万人	104.7%	1,510万人	98.4%	1,497万人	99.2%	1,491万人	99.5%	1,477万人	99.1%
計	5,041万人	103.7%	5,009万人	99.4%	4,939万人	98.6%	4,839万人	98.0%	4,813万人	99.5%

(参考) 観光入込客数(延べ人数)

1 総数

平成17年度の観光入込客の総数は、延べ1億3,903万人で、前年度の100.5%(66万人増)となりました。

2 道外・道内客別

道外客は、4,576万人で前年度比103.6%(158万人増)、道内客は、9,327万人で同99.0%(92万人減)となりました。

構成比で見ると、道外客が32.9%、道内客が67.1%となっています。

3 日帰り・宿泊客別

日帰り客は、1億1,161万人で前年度比100.9%(100万人増)、宿泊客は、2,742万人で同98.8%(34万人減)となりました。

構成比で見ると、日帰り客が80.3%、宿泊客が19.7%となっています。

<平成17年度観光入込客数(延べ人数)>

区分	観光入込客数	前年度対比	増減数	構成比
総数	13,903万人	100.5%	66万人	100.0%
道外客	4,576万人	103.6%	158万人	32.9%
道内客	9,327万人	99.0%	92万人	67.1%
日帰り客	11,161万人	100.9%	100万人	80.3%
宿泊客	2,742万人	98.8%	34万人	19.7%

4 月別・季節別

月別にみると、8月が最も多く全体の15.7%を占め、次いで7月14.0%、9月11.2%の順となっています。12月が前年度比105.8%、10月が同104.4%、11月が同104.1%、9月及び3月が同102.6%、1月が同100.1%と増加しました。

季節別にみると、春季は前年度比97.1%と減少しましたが、夏季、秋季及び冬季は、前年度比100.2%、同104.3%、同101.1%と増加しました。

<月別・季節別観光入込客数(延べ人数)>

区分	春		夏				上期
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
月別	675万人	1,385万人	1,361万人	1,944万人	2,189万人	1,564万人	9,118万人
構成比	4.9%	10.0%	9.8%	14.0%	15.7%	11.2%	65.6%
前年度比	96.9%	97.2%	99.1%	99.9%	99.5%	102.6%	99.5%
季節別	2,060万人		7,058万人				9,118万人
構成比	14.8%		50.8%				65.6%
前年度比	97.1%		100.2%				99.5%

区分	秋		冬				下期	年間合計
	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
月別	1,289万人	677万人	609万人	716万人	786万人	709万人	4,785万人	13,903万人
構成比	9.3%	4.9%	4.4%	5.1%	5.7%	5.1%	34.4%	100.0%
前年度比	104.4%	104.1%	105.8%	100.1%	97.4%	102.6%	102.4%	100.5%
季節別	1,966万人		2,819万人				4,785万人	13,903万人
構成比	14.1%		20.3%				34.4%	100.0%
前年度比	104.3%		101.1%				102.4%	100.5%

5 圏域別

圏域別にみると、前年度に比べ、十勝圏が105.0%、道北圏が102.4%、道央圏が101.7%と増加しましたが、他の圏域では減少しました。

また、宿泊客延数では、オホーツク圏が107.1%、十勝圏が102.8%、釧路・根室圏が101.6%と増加しています。各圏域の特徴は次のとおりです。

【道 央】春先の天候不順により屋外施設のオープンが遅れたことや例年にない大雪などマイナス要因があったものの、「アウトレットモール・レラ」（千歳市）や「モエレ沼公園」（札幌市）といった大型観光施設のオープンなどによって、全体では前年度に比べ増加しました。

【道 北】全国的に人気施設となった「旭山動物園」を核にしたツアーが増加したほか、新たにオープンした「科学館サイパル」（旭川市）、テレビドラマのロケ地効果や体験観光メニューの充実などにより増加しました。

【道 南】春先の天候不順により、桜の開花が遅れ、各地の桜まつりへの出足が鈍ったことや、愛知万博の開催、知床や旭山動物園人気などが影響し、入込客数は減少しました。

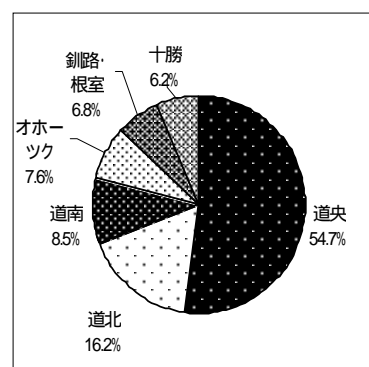
【オホーツク】知床効果により北網地域の入込が増加したものの、GW前後の天候不良による開花や知床横断道路の開通の遅れ、冬季は流水の接岸期間が記録的に短かったことなどが影響し、全体では微減となりました。

【釧路・根室】知床の世界自然遺産登録効果があったものの、知床横断道路の開通がGW後となったことや野付半島への団体ツアーの落ち込み、冬季は流水の接岸期間が記録的に短かったことなどが影響し、全体では微減となりました。

【十 勝】道の駅「なかさつない」や池田町ワイン城が年度当初にリニューアルし、降雪前まで多くの観光客を集めたほか、新得町内のスキー場の増加などにより前年度に比べ増加しました。

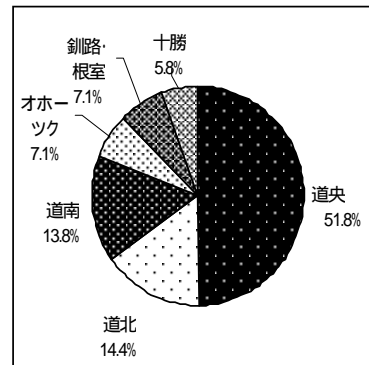
<観光入込客数（延べ人数） 圏域別構成比>

圏域別	観光入込客数	前年度比	増 減 数	構成比
道 央	7,601 万人	101.7%	125 万人	54.7%
道 北	2,253 万人	102.4%	53 万人	16.2%
道 南	1,185 万人	89.1%	145 万人	8.5%
オホーツク	1,059 万人	99.8%	2 万人	7.6%
釧路・根室	945 万人	99.5%	5 万人	6.8%
十 勝	860 万人	105.0%	40 万人	6.2%
合 計	13,903 万人	100.5%	66 万人	100.0%



<宿泊客延数 圏域別構成比>

圏域別	宿泊客延数	前年度比	増 減 数	構成比
道 央	1,760 万人	98.0%	37 万人	51.8%
道 北	489 万人	99.6%	2 万人	14.4%
道 南	468 万人	98.3%	8 万人	13.8%
オホーツク	241 万人	107.1%	16 万人	7.1%
釧路・根室	240 万人	101.6%	4 万人	7.1%
十 勝	198 万人	102.8%	5 万人	5.8%
合 計	3,397 万人	99.4%	22 万人	100.0%



6 市町村別

市町村別でみると、札幌市（定山溪を除く）が1,113万人（前年度比100.1%）で最も多く、次いで、小樽市756万人（同100.3%）、旭川市564万人（同132.6%）以下、函館市、千歳市、（旧）虻田町、喜茂別町の順となっています。

一方、宿泊客延数でみると、札幌市（定山溪を除く）が800万人（前年度比100.2%）で最も多く、次いで、函館市395万人（102.3%）、札幌市（定山溪）169万人（同85.7%）以下、登別市、上川町、（旧）阿寒町、帯広市の順となっています。

<観光入込客数の多い市町村>

順位	市町村名	入込総数	前年度比
1	札幌市(定山溪)	1,113 万人	100.1%
2	小樽市	756 万人	100.3%
3	旭川市	564 万人	132.6%
4	函館市	484 万人	95.6%
5	千歳市	434 万人	231.2%
6	(旧)虻田町	322 万人	101.2%
7	喜茂別町	314 万人	95.6%
8	登別市	308 万人	96.7%
9	(旧)釧路市	255 万人	100.0%
10	上川町	254 万人	99.6%
11	帯広市	241 万人	100.7%
12	札幌市(定山溪)	220 万人	100.4%
13	富良野市	207 万人	102.0%
14	七飯町	207 万人	96.5%
15	白老町	185 万人	90.9%
16	壮瞥町	180 万人	98.2%
17	網走市	180 万人	98.8%
18	斜里町	169 万人	107.3%
19	(旧)阿寒町	150 万人	96.7%
20	倶知安町	150 万人	101.4%

<宿泊客延数の多い市町村>

順位	市町村名	宿泊客延数	前年度比
1	札幌市(定山溪)	800 万人	100.2%
2	函館市	395 万人	102.3%
3	札幌市(定山溪)	169 万人	85.7%
4	登別市	135 万人	96.1%
5	上川町	88 万人	102.9%
6	(旧)阿寒町	85 万人	98.4%
7	帯広市	82 万人	105.7%
8	小樽市	79 万人	98.7%
9	(旧)虻田町	71 万人	101.4%
10	倶知安町	65 万人	101.0%
11	(旧)釧路市	65 万人	106.7%
12	東川町	61 万人	88.9%
13	斜里町	60 万人	101.0%
14	網走市	60 万人	106.0%
15	旭川市	60 万人	103.5%
16	音更町	57 万人	98.3%
17	二セコ町	54 万人	109.9%
18	富良野市	52 万人	111.5%
19	(旧)北見市	45 万人	107.2%
20	弟子屈町	45 万人	97.3%

(参考) 来道観光客数(実人数)

1 概況

平成17年度の交通機関(航空機・フェリー・鉄道)の下り便の輸送実績をもとに推計した来道観光客数は、635万人で、前年度の632万人に対し100.5%となっています。

季節別でみると、春季は前年度比98.2%と減少しましたが、夏季同100.3%、秋季は同104.1%、冬季は同100.5%と増加しました。

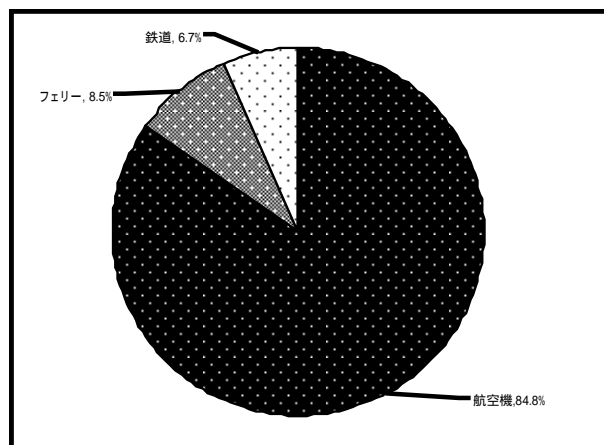
2 交通機関別の状況

交通機関別にみると、航空機は(構成比84.8%)と100.9%と前年を上回りましたが、フェリー(同8.5%)及び鉄道(同6.9%)はそれぞれ98.9%、98.0%と減少しました。

<平成17年度来道観光客数(交通機関別・季節別)>

区分		合計	構成比	春(4月・5月)	夏(6月~9月)	秋(10月・11月)	冬(12月~3月)
合計	来道観光客数	635万人	100.0%	81万人	349万人	75万人	130万人
	構成比	100.0%		12.8%	54.9%	11.8%	20.5%
	前年度対比	100.5%		98.2%	100.3%	104.1%	100.5%
航空機	来道観光客数	539万人	84.8%	65万人	294万人	64万人	115万人
	構成比	100.0%		12.1%	54.6%	11.9%	21.4%
	前年度対比	100.9%		98.1%	100.7%	104.6%	101.0%
フェリー	来道観光客数	54万人	8.5%	9万人	34万人	5万人	7万人
	構成比	100.0%		16.7%	62.2%	8.5%	12.5%
	前年度対比	98.9%		101.9%	97.4%	106.1%	97.8%
鉄道	来道観光客数	42万人	6.7%	7万人	21万人	6万人	8万人
	構成比	100.0%		16.6%	49.0%	14.5%	19.9%
	前年度対比	98.0%		95.3%	99.4%	98.6%	96.4%

【交通機関別構成比】



(参考) 訪日外国人来道者数

1 訪日外国人来道者数(実人数)

(1) 概況

平成17年度の訪日外国人来道者数は、実人数で51万3,650人となり、前年度の42万7,050人に対し120.3%と大幅に増加しました

国のビジット・ジャパン・キャンペーン事業の展開によるPR効果に加え、道内各地でも行政、民間事業者、関係団体などが連携して積極的に海外プロモーション活動を推進したことや東アジアと道内空港間の定期便やチャーター便が増便されたことなどにより、昨年度に引き続き大幅な増加となりました。

(2) 国・地域別

本道観光の主要市場であるアジア地域からの来道者は、46万6,450人で前年度(37万8,500人)の123.2%と大幅に増加しました。

台湾、韓国、中国からの来道者は、上記要因に加え、訪日査証発給等の緩和措置の効果により前年度に比べ増加したほか、依然として、北海道へのスキー人気が高いオーストラリアからの来道者についても引き続き高い伸びとなりました。

国・地域別にみると、台湾が27万6,800人(前年度比132.7%、構成比53.9%)と最も多く、次いで、中国(香港)が8万6,500人(同104.5%、16.8%)、韓国が7万500人(同109.7%、13.6%)の順となっています。

【台湾】 高い北海道旅行人気に加え、愛知万博に合わせたビザ免除措置が恒久化されたほか、定期便(新千歳～台北線:週5便 9便)やチャーター便の増便効果もあって、来道者数は昨年に引き続き、大幅に増加しました。

【中国(香港)】 前年のビザ免除措置による大幅増の反動に加え、旅行代金が日本より安いアジア近隣諸国へ需要が流れたことなどが影響し、ほぼ前年並みに止まりました。

【中国】 反日デモの発生による影響が危惧されましたが、高度経済成長による外国旅行の増加を背景に、北海道旅行人気の高まりや訪日中国人団体観光旅行のビザ発給対象地域が中国全土に拡大されたことにより、引き続き増加しました。

【韓国】 春季は竹島領有権問題などが影響し、減少傾向にありましたが、愛知万博に合わせたビザ免除措置が恒久化されたほか、自然や温泉が豊富な北海道への観光需要が高まり、増加しました。

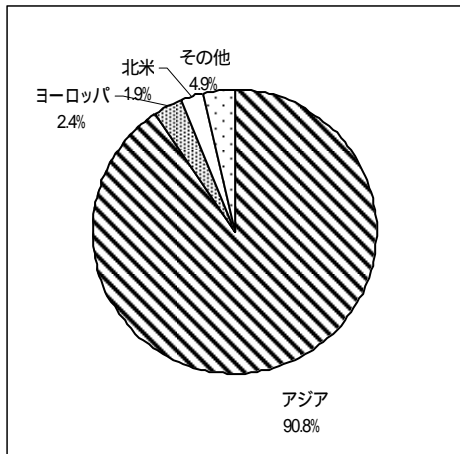
【オーストラリア】 北海道へのスキー人気により、旅行先がこれまでの倶知安町、ニセコ町に加え、富良野市へも拡大し、昨年度に引き続き大幅に増加しました。

<平成17年度訪日外国人来道者数(実人数)>

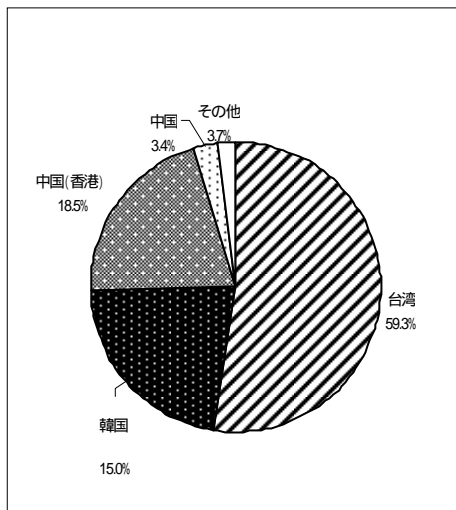
(単位:人)

区分		アジア							ヨーロッパ		北米		中南米	アフリカ	オセアニア		不明	合計
		中国	韓国	台湾	香港	シンガポール	その他	小計	ロシア	その他	米国	カナダ			オーストラリア	その他		
春季 (4・5月)	17年度	1,850	3,850	35,250	7,200	1,250	550	49,950	1,050	800	1,200	100	50	50	150	50	450	53,850
	16年度	1,300	4,050	24,300	8,800	550	400	39,400	900	800	1,000	100	50	50	100	50	1,600	44,050
	前年度比	142.3%	95.1%	145.1%	81.8%	227.3%	137.5%	126.8%	116.7%	100.0%	120.0%	100.0%	100.0%	100.0%	150.0%	100.0%	28.1%	122.2%
夏季 (6~9月)	17年度	5,200	40,550	114,700	30,400	4,650	1,850	197,350	2,650	3,200	3,350	400	300	200	500	350	1,750	210,050
	16年度	3,650	38,700	75,900	30,600	1,350	1,550	151,750	3,300	2,400	3,300	450	250	150	500	200	4,950	167,250
	前年度比	142.5%	104.8%	151.1%	99.3%	344.4%	119.4%	130.0%	80.3%	133.3%	101.5%	88.9%	120.0%	133.3%	100.0%	175.0%	35.4%	125.6%
秋季 (10・11月)	17年度	2,200	7,250	37,000	8,250	1,100	700	56,500	850	950	1,100	100	50	50	250	50	550	60,450
	16年度	2,250	6,000	33,100	7,800	1,000	1,150	51,300	950	850	1,450	150	50	50	200	100	650	55,750
	前年度比	97.8%	120.8%	111.8%	105.8%	110.0%	60.9%	110.1%	89.5%	111.8%	75.9%	66.7%	100.0%	100.0%	125.0%	50.0%	84.6%	108.4%
冬季 (12~3月)	17年度	6,400	18,400	89,850	40,650	4,800	2,550	162,650	1,350	1,900	3,100	350	50	0	18,000	250	1,650	189,300
	16年度	4,850	15,100	75,300	35,550	3,100	2,150	136,050	1,550	2,150	3,350	400	50	50	13,850	450	2,100	160,000
	前年度比	132.0%	121.9%	119.3%	114.3%	154.8%	118.6%	119.6%	87.1%	88.4%	92.5%	87.5%	100.0%	0.0%	130.0%	55.6%	78.6%	118.3%
合計	17年度	15,650	70,050	276,800	86,500	11,800	5,650	466,450	5,900	6,850	8,750	950	450	300	18,900	700	4,400	513,650
	16年度	12,050	63,850	208,600	82,750	6,000	5,250	378,500	6,700	6,200	9,100	1,100	400	300	14,650	800	9,300	427,050
	前年度比	129.9%	109.7%	132.7%	104.5%	196.7%	107.6%	123.2%	88.1%	110.5%	96.2%	86.4%	112.5%	100.0%	129.0%	87.5%	47.3%	120.3%

【地域別構成比】



【アジア地域内構成比】



【外国人来道者数(実人数)の推移】

(上段:人数、下段:前年度比)

	平成13年度	平成14年度		平成15年度		平成16年度		平成17年度			
		うち上期	うち下期	うち上期	うち下期	うち上期	うち下期	うち上期	うち下期		
アジア	台湾	119,450人 108.9%	54,900人 105.2%	133,200人 111.5%	67,300人 122.6%	119,750人 89.9%	45,050人 66.9%	208,600人 174.2%	100,200人 222.4%	276,800人 132.7%	149,950人 149.7%
	中国(香港)	45,900人 156.1%	11,100人 188.1%	55,450人 120.8%	26,000人 234.2%	56,600人 102.1%	25,900人 99.6%	82,750人 146.1%	39,400人 152.1%	86,500人 104.5%	37,600人 95.4%
	韓国	27,850人 139.9%	18,500人 150.4%	41,900人 150.4%	29,000人 156.8%	61,200人 146.1%	46,300人 159.7%	63,850人 104.3%	42,750人 92.3%	70,050人 109.7%	44,400人 103.9%
	中国	3,900人 162.5%	1,800人 138.5%	5,200人 133.3%	2,500人 138.9%	5,800人 111.5%	2,450人 98.0%	12,050人 207.8%	4,950人 202.0%	15,650人 129.9%	7,050人 142.4%
	その他	5,450人 87.9%	2,600人 102.0%	7,050人 129.4%	3,600人 138.5%	8,200人 116.3%	3,400人 94.4%	11,250人 137.2%	3,850人 113.2%	17,450人 155.1%	8,300人 215.6%
アメリカ	6,950人 83.2%	3,900人 97.5%	7,500人 107.9%	4,500人 115.4%	7,850人 104.7%	4,700人 104.4%	9,100人 115.9%	4,300人 91.5%	8,750人 96.2%	4,550人 105.8%	
ロシア	6,100人 100.0%	3,500人 106.1%	6,800人 111.5%	4,100人 117.1%	6,950人 102.2%	4,600人 112.2%	6,700人 96.4%	4,200人 91.3%	5,900人 88.1%	3,700人 88.1%	
オーストラリア	1,550人 41.9%	500人 58.8%	2,230人 143.9%	1,100人 110.0%	7,550人 338.6%	600人 109.1%	14,650人 194.0%	600人 100.0%	18,900人 129.0%	650人 108.3%	
その他(不明を含む)	18,950人 94.3%	9,900人 94.3%	20,020人 105.6%	14,550人 147.0%	19,880人 99.3%	14,250人 97.9%	18,100人 91.0%	11,050人 77.5%	13,650人 75.4%	7,700人 69.7%	
合計	236,100人 114.3%	106,700人 114.9%	279,350人 118.3%	152,100人 142.5%	293,780人 105.2%	147,250人 96.8%	427,050人 145.4%	211,300人 143.5%	513,650人 120.3%	263,900人 124.9%	

2 訪日外国人来道宿泊者数（延べ人数）

（1）概況

平成17年度の訪日外国人来道宿泊者数は、163万1,178人で、前年度比121.4%と大幅に増加しました。

国・地域別にみると、台湾が91万4,882人（前年度比128.7%）と最も多く、次いで中国（香港）が30万7,994人（同104.1%）、韓国が13万925人（同116.6%）となっています。

<平成17年度訪日外国人来道宿泊者数（延べ人数）>

（単位：人）

	ア ジ ア							ヨ ー ロ ッ パ					
	中国	韓国	台湾	中国(香港)	シンガポール	その他	小計	ロシア	イギリス	フランス	ドイツ	その他	小計
17年度	41,679	130,925	914,882	307,994	42,293	20,505	1,458,278	9,867	4,734	2,988	3,167	13,287	34,043
16年度	34,203	112,253	710,701	295,987	21,642	18,751	1,193,537	11,047	4,395	3,290	3,019	11,345	33,096
前年度比	121.9%	116.6%	128.7%	104.1%	195.4%	109.4%	122.2%	89.3%	107.7%	90.8%	104.9%	117.1%	102.9%

	北 米		中南米	アフリカ	オセアニア		不明	合計
	米国	カナダ			豪州	その他		
17年度	31,074	3,480	1,465	1,039	83,552	2,604	15,643	1,631,178
16年度	32,655	3,906	1,259	745	52,571	2,524	22,859	1,343,152
前年度比	95.2%	89.1%	116.4%	139.5%	158.9%	103.2%	68.4%	121.4%

（2）月別・季節別

月別にみると、2月が最も多く、全体の12.1%を占め、次いで8月の11.9%、7月の11.6%の順となっています。前年度と比べると10月以外の各月で増加しており、最も伸び率が高い月は、9月で151.4%、次いで1月が142.4%、6月が136.0%と増加となっています。

季節別にみると、夏季は前年同期の130.6%と大幅に増加し、他の季節も、春季121.4%、冬季118.7%、秋季105.9%と増加しています。

<月別・季節別訪日外国人来道宿泊者数（延べ人数）>

（単位：人）

区 分	春			夏			上期計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
月 別	63,371	88,913	135,977	189,760	193,467	126,476	797,964
構成比	3.9%	5.5%	8.3%	11.6%	11.9%	7.8%	48.9%
前年度比	122.5%	120.6%	136.0%	115.6%	132.0%	151.4%	128.8%
季節別	152,284			645,680			797,964
構成比	9.3%			39.6%			48.9%
前年度比	121.4%			130.6%			128.8%

区 分	秋		冬				下期計	年間合計
	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
月 別	112,259	96,355	163,260	166,597	197,236	97,507	833,214	1,631,178
構成比	6.9%	5.9%	10.0%	10.2%	12.1%	6.0%	51.1%	100.0%
前年度比	93.2%	125.7%	124.5%	142.4%	103.4%	111.5%	115.2%	121.4%
季節別	208,614		624,600				833,214	1,631,178
構成比	12.8%		38.3%				51.1%	100.0%
前年度比	105.9%		118.7%				115.2%	121.4%

(3) 圏域別

圏域別にみると、オホーツクと釧路・根室を除く圏域において、前年度対比で増加となりました。十勝圏が135.1%と最も高く、次いで道央圏が125.2%、道北圏が116.6%、道南圏が113.0%の順となっています。

< 圏域別訪日外国人来道宿泊延べ数 >

(単位：人、%)

	ア ジ ア							ヨ ー ロ ッ パ					
	中国	韓国	台湾	中国(香港)	シンガポール	その他	小計	ロシア	イギリス	フランス	ドイツ	その他	小計
道南	1,812	3,167	48,734	10,056	2,025	705	66,499	461	443	164	140	702	1,910
道央	35,666	109,029	555,310	243,227	26,336	16,929	986,497	3,573	2,550	1,840	2,118	8,754	18,835
道北	1,759	7,330	144,193	32,086	4,865	1,087	191,320	1,221	272	263	295	1,532	3,583
オホーツク	851	2,060	11,626	10,303	279	260	25,379	270	171	267	362	347	1,417
十勝	189	2,323	98,027	4,904	5,329	659	111,431	60	924	309	104	1,343	2,740
釧路・根室	1,402	7,016	56,992	7,418	3,459	865	77,152	4,282	374	145	148	609	5,558
合計	41,679	130,925	914,882	307,994	42,293	20,505	1,458,278	9,867	4,734	2,988	3,167	13,287	34,043

	北 米		中南米	アフリカ	オセアニア		不明	合計	前年度比	16年度
	米国	カナダ			豪州	その他				
道南	2,413	248	142	3	375	85	676	72,351	113.0	64,053
道央	22,408	2,489	1,064	663	76,533	1,711	12,068	1,122,268	125.2	896,399
道北	2,504	459	39	217	5,279	580	1,075	205,056	116.6	175,909
オホーツク	1,231	106	96	44	249	73	137	28,732	89.5	32,110
十勝	759	30	103	54	834	101	1,589	117,641	135.1	87,077
釧路・根室	1,759	148	21	58	282	54	98	85,130	97.2	87,604
合計	31,074	3,480	1,465	1,039	83,552	2,604	15,643	1,631,178	121.4	1,343,152

(4) 市町村別

市町村別にみると、有名温泉地を抱える市町村が上位を占めており、札幌市が54万2,043人(前年度比142.2%)で最も多く、次いで、登別市14万9,540人(同113.1%)、上川町10万7,853人(同117.2%)、(旧)虻田町9万6,368人(同105.9%)、壮瞥町9万1,086人(同116.3%)となっています。

【宿泊延べ数の多い上位5ヶ国】

順位	国名	宿泊延べ数	前年度比
1	台湾	914,882人	128.7%
2	中国(香港)	307,994人	104.1%
3	韓国	130,925人	116.6%
4	オーストラリア	83,552人	158.9%
5	シンガポール	42,293人	195.4%

【訪日外国人宿泊延べ数の多い市町村】

順位	市町村名	宿泊延べ数	前年度比
1	札幌市	542,043人	142.2%
2	登別市	149,540人	113.1%
3	上川町	107,853人	117.2%
4	(旧)虻田町	96,368人	105.9%
5	壮瞥町	91,086人	116.3%

【台湾の宿泊延べ数の多い市町村】

順位	市町村名	宿泊延べ数	前年度比
1	札幌市	279,960人	168.0%
2	登別市	93,824人	127.5%
3	上川町	91,894人	108.1%
4	壮瞥町	60,761人	115.0%
5	音更町	55,600人	209.2%

【中国(香港)の宿泊延べ数の多い市町村】

順位	市町村名	宿泊延べ数	前年度比
1	札幌市	136,219人	117.4%
2	(旧)虻田町	37,213人	96.8%
3	登別市	22,205人	77.2%
4	小樽市	16,318人	109.9%
5	上川町	9,087人	388.0%

【韓国の宿泊延べ数の多い市町村】

順位	市町村名	宿泊延べ数	前年度比
1	札幌市	38,338人	153.8%
2	登別市	21,987人	104.5%
3	壮瞥町	19,332人	121.2%
4	留寿都村	12,862人	138.2%
5	(旧)阿寒町	4,399人	107.6%

【中国の宿泊延べ数の多い市町村】

順位	市町村別	宿泊延べ数	前年度比
1	札幌市	22,665人	143.5%
2	壮瞥町	3,000人	102.3%
3	(旧)虻田町	2,654人	94.7%
4	千歳市	2,084人	163.3%
5	登別市	1,673人	104.6%

【ロシアの宿泊延べ数の多い市町村】

順位	市町村名	宿泊延べ数	前年度比
1	根室市	2,483人	93.6%
2	札幌市	1,952人	120.9%
3	(旧)釧路市	1,673人	88.4%
4	小樽市	1,342人	116.5%
5	稚内市	1,091人	85.9%

【アメリカの宿泊延べ数の多い市町村】

順位	市町村名	宿泊延べ数	前年度比
1	札幌市	14,183人	88.0%
2	千歳市	2,319人	54.5%
3	登別市	2,315人	286.2%
4	函館市	2,266人	111.7%
5	苫小牧市	935人	295.0%

【オーストラリアの宿泊延べ数の多い市町村】

順位	市町村名	宿泊延べ数	前年度比
1	倶知安町	67,240人	150.0%
2	富良野市	4,243人	1423.8%
3	ニセコ町	2,987人	308.9%
4	札幌市	2,803人	126.3%
5	留寿都村	2,028人	202.0%

北海道観光入込客数調査報告書 [平成 17 年度]

平成 18 年 7 月
北海道経済部観光のくにつくり推進局
札幌市中央区北 3 条西 6 丁目
TEL 011-231-4111 内線 26-568
ダイヤルイン 011-204-5302
FAX 011-232-4120
